

## はじめに

### 凡例

## これまでの知的財産政策と今後の特許庁の取組

## 第1部 我が国ユーザーの知的財産活動

### 第1章 国内外の出願・登録状況と審査・審判の現状

|         |    |
|---------|----|
| 1. 特許   | 2  |
| 2. 実用新案 | 23 |
| 3. 意匠   | 25 |
| 4. 商標   | 31 |
| 5. 審判   | 37 |

### 第2章 大企業・中小企業・大学における知的財産活動の状況

|                   |    |
|-------------------|----|
| 1. 企業等における知的財産活動  | 41 |
| 2. 中小企業における知的財産活動 | 51 |
| 3. 大学等における知的財産活動  | 62 |
| 4. 各分野における知的財産活動  | 65 |

### 第3章 特定分野における現状と課題

|                     |     |
|---------------------|-----|
| 1. 特許から見た特定技術分野の動向  | 75  |
| 2. 特定分野における意匠登録出願動向 | 121 |

## 第2部 特許庁における取組

### 第1章 特許における取組

|                        |     |
|------------------------|-----|
| 1. より早い特許審査のための取組      | 126 |
| 2. 安定した権利取得のための取組      | 129 |
| 3. 国際的なワークシェアリングのための取組 | 135 |
| 4. 今後の特許戦略の実現に向けた取組    | 138 |

### 第2章 意匠における取組

|   |     |
|---|-----|
| 1. 創造的なデザインの権利保護による<br>我が国企業の国際展開支援について | 150 |
| 2. デザイン・意匠制度の活用の促進                      | 153 |
| 3. 意匠関連情報の整備、提供                         | 156 |
| 4. 意匠審査の品質監理                            | 158 |
| 5. 出願人のニーズを踏まえた早期審査の運用                  | 158 |

### 第3章 商標における取組

|  |     |
|--|-----|
| 1. 日韓両庁の協力プロジェクト：<br>日韓類似群コード対応表の作成・公表 | 161 |
| 2. ニース協定に基づく国際分類の変更に関する取組              | 163 |
| 3. 国際登録制度（マドリッド協定議定書）の周知活動             | 164 |
| 4. 地域団体商標に関する取組                        | 165 |
| 5. 商標審査の品質監理                           | 171 |
| 6. 出願人のニーズを踏まえた早期審査の運用                 | 172 |

|            |                           |     |
|------------|---------------------------|-----|
| <b>第4章</b> | <b>審判における取組</b>           |     |
|            | 1. 審理の質の充実化に向けた取組         | 175 |
|            | 2. 迅速な審理に向けた取組            | 176 |
|            | 3. 国際的な連携強化に向けた取組         | 177 |
| <b>第5章</b> | <b>IT化に関する取組</b>          |     |
|            | 1. 特許庁の一層のIT化に向けた取組       | 178 |
|            | 2. グローバルなIT化に向けた取組        | 181 |
| <b>第6章</b> | <b>中小企業・地域・大学等への支援・施策</b> |     |
|            | 1. 情報の提供による支援             | 185 |
|            | 2. 料金面等における支援             | 193 |
|            | 3. 相談業務による支援              | 195 |
|            | 4. 専門人材による支援              | 199 |
|            | 5. 知的財産制度の普及啓発活動          | 207 |
|            | 6. 地域における支援体制             | 210 |
|            | 7. 企業と特許庁の意見交換を通じた取組      | 215 |
| <b>第7章</b> | <b>人材育成に向けた支援・施策</b>      |     |
|            | 1. 知的財産人材の育成              | 217 |
|            | 2. 知財功労賞表彰                | 226 |

## 第3部 国内外における知的財産をめぐる環境の変化

|            |                                 |     |
|------------|---------------------------------|-----|
| <b>第1章</b> | <b>企業活動の変化</b>                  |     |
|            | 1. 企業における知的財産活動の変化              | 232 |
|            | 2. 分野別に見た我が国企業の国際的な知的財産活動       | 238 |
| <b>第2章</b> | <b>国際的な知的財産活動の動向</b>            |     |
|            | 1. 知的財産制度の環境変化                  | 244 |
|            | 2. 米国における動向                     | 246 |
|            | 3. 中国における動向                     | 255 |
|            | 4. ASEANにおける動向                  | 261 |
|            | 5. 欧州における動向                     | 269 |
|            | 6. 韓国における動向                     | 281 |
|            | 7. 台湾における動向                     | 289 |
|            | 8. インドにおける動向                    | 293 |
|            | 9. ロシアにおける動向                    | 296 |
|            | 10. ブラジルにおける動向                  | 296 |
|            | 11. その他の地域（中南米、中東諸国、アフリカ）における動向 | 297 |
| <b>第3章</b> | <b>我が国の国際的な枠組みの中での取組</b>        |     |
|            | 1. 多国間会合における取組                  | 299 |
|            | 2. 国際フォーラムにおける取組                | 307 |
|            | 3. 途上国の知的財産制度整備に向けた取組           | 318 |
|            | 4. 模倣品問題への対応                    | 322 |
|            | 5. 経済連携協定（EPA）・自由貿易協定（FTA）締結の推進 | 327 |

## 第4部 今後の知的財産政策の方向性と具体的取組

1. 知的財産政策の基本方針 ..... 330
2. 今後の知的財産政策の方向性 ..... 331
3. 具体的な課題と取組 ..... 332

## 索引 図表索引

## Column

1. 特許審査の質についてのユーザーアンケート ..... 133
2. グローバル特許審査ハイウェイ ..... 143
3. 美術大学による社会連携の事例 ～地域の魅力をアピールする飲料水ボトルの商品化～ ..... 155
4. 地域団体商標活用事例 ..... 169
5. 海外での出願や権利取得が進む「新しい商標」 ..... 173
6. 産業財産権分野における情報のフォーマットの標準化 ..... 184
7. 新興国等知財情報データベースの掲載情報紹介 ..... 186
8. 「知財総合支援窓口を活用し、特許権等取得、製品化を実現、  
海外展開も視野にビジネスを展開する企業」 ..... 198
9. 海外知的財産プロデューサーによる中堅・中小企業の海外進出支援  
～海外進出を見据えた知的財産マネジメント～ ..... 200
10. UNIFORM プロジェクトにおける知的財産プロデューサーの活動について ..... 202
11. 広域ネットワーク活動としての新技術説明の開催事例 ..... 205
12. 中小企業への大企業等保有特許移転に関する調査研究 ..... 211
13. 北海道の強みをいかした知的財産への取組 ～北海道知的財産戦略本部～ ..... 213
14. 中小企業等経営者・知的財産担当者向け知財塾開催事業 ..... 214
15. 知的財産に関する創造力・実践力・活用力開発事業  
富士市立高等学校の取組について ..... 223
16. 仮想企業における知的財産活動の検討結果 ～エレクトロニクス分野に関して～ ..... 242
17. 中国における法改正手続きについて ..... 260
18. ミャンマーにおける日本政府の様々な支援について ..... 267
19. 三権が三位一体で支援する欧州連合における税関エンフォースメント ..... 278
20. 韓国企業の知財戦略 ..... 286
21. 両岸における知的財産交流 ..... 292
22. インド特許意匠商標総局による審査情報の積極的な公開 ..... 295
23. 悪意の商標出願セミナー ..... 304
24. WIPO 事務局長選挙 ..... 314
25. 模倣品・海賊版撲滅キャンペーン ～ホンモノの大人になろう～ ..... 326
26. 「特許審査に関する品質ポリシー」について ..... 344
27. 独占的なライセンス契約の在り方に関する企業の声 ..... 345

## Case

1. 知的財産活用企業 ー平成 26 年度知財功労賞受賞企業より その 1ー  
「Innovation for Customers」をブランドスローガンに掲げる  
日東電工株式会社…………… 134
2. 知的財産活用企業 ー平成 26 年度知財功労賞受賞企業より その 2ー  
iPS 細胞の研究成果を人類のために社会還元する  
iPS アカデミアジャパン株式会社 …………… 149
3. 知的財産活用企業 ー平成 26 年度知財功労賞受賞企業より その 3ー  
「美容と健康」をテーマに魅力ある商品のデザインを意匠権で保護する  
株式会社 MTG …………… 160
4. 知的財産活用企業 ー平成 26 年度知財功労賞受賞企業より その 4ー  
知的財産権と品質を一体化させたブランド戦略を展開する  
株式会社ノエビア…………… 174